

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成22年8月11日

上場会社名 アネスト岩田株式会社

上場取引所 東

コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 壺田 貴弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 飯田 紀之

TEL 045-591-1182

四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,728	△38.8	△36	—	84	△88.6	47	△88.5
21年3月期第1四半期	6,095	—	572	—	739	—	418	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.04	—
21年3月期第1四半期	9.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	23,019	17,037	71.5	356.80
21年3月期	23,482	16,821	69.2	352.38

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 16,459百万円 21年3月期 16,256百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	2.00	8.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	9,000	△32.9	0	—	60	△96.5	0	—	0.00
通期	18,000	△19.8	180	△91.1	360	△82.3	170	△87.7	3.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他
- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 46,165,505株 | 21年3月期 | 46,165,505株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 33,833株 | 21年3月期 | 32,376株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 46,132,437株 | 21年3月期第1四半期 | 46,129,682株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、前連結会計年度後半以降の生産活動の低迷・在庫増加・輸出の減少等の悪い状況に改善の傾向は見えてきたものの、設備投資の回復は遅れ、厳しい状況が継続しております。

当業界におきましても、一部に改善の兆しはあるものの、景気後退による設備投資意欲の低下は容易に回復せず、需要は継続して低迷しております。

このような状況のなか、当社グループは市場ごとのニーズをとらえ、有望市場の開拓・深耕に積極的に経営資源を投入し、諸施策を実行してまいりました。

新製品開発におきましては、圧縮機では省エネに貢献するESTIB（エスティボ：「Energy Saving Technology & Innovation Booster」）省エネ技術革新者”を意味するブースターコンプレッサの総称)のシリーズ化を、真空機器ではISPシリーズの最小形機種ISP-50を、塗装機器ではピニンファリーナ社デザインによる自動車修理市場向けの水性塗料用最高級スプレーガン(WS-400シリーズ)を開発・発売いたしました。

販売におきましては、新市場・新販路の拡大を図るため営業員の再配置を実施し、お客様密着型営業への転換を図ってまいりました。

また、購入費の削減や生産工程の改善などの原価低減策の実行や役員の報酬及び管理職の給与の減額、ワークシェアリングなど利益の確保に努力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高3,728百万円、営業損失36百万円、経常利益84百万円、四半期純利益47百万円となりました。

①製品別売上高は次の通りです。

製品別売上高

(単位:千円)

製品区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		前年同四半期比増減	
	平成20年4月1日～平成20年6月30日		平成21年4月1日～平成21年6月30日			
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
圧縮機	2,747,492	45.1%	1,774,436	47.6%	△973,056	△35.4%
真空機器	396,703	6.5%	261,434	7.0%	△135,268	△34.1%
塗装機器	2,273,770	37.3%	1,383,692	37.1%	△890,077	△39.1%
塗装設備	677,862	11.1%	309,021	8.3%	△368,840	△54.4%
計	6,095,828	100.0%	3,728,585	100.0%	△2,367,243	△38.8%

＜ 圧縮機製品 ＞

国内市場では、製造業の大幅な生産調整が実施され生産設備の稼働率が低下した結果、生産設備である圧縮機の売上げは低迷いたしました。海外市場は、世界的な景気後退の影響を受け全ての市場で減少致しましたが、米国の医療向けを中心とする市場の減少は軽微でした。また、中国・インドでは回復の兆しが見えてまいりました。

この結果、売上高は1,774百万円と大幅な減少となりました。

＜ 真空機器製品 ＞

国内市場は、企業の設備投資抑制や官公庁の需要減少期が重なり、低迷いたしました。海外市場は、ロシアが好調に推移いたしました。他の地域は低迷いたしました。

この結果、売上高は261百万円と大幅な減少となりました。

＜ 塗装機器製品 ＞

国内市場は、企業の設備投資抑制の影響により全体的に低調に推移しました。特に環境装置は大幅に減少いたしました。海外市場は、ヨーロッパが大幅に減少しましたが、中国などの新興エリアは回復の傾向にあります。

5月にヨーロッパで先行発売した新型最高級スプレーガン(WS-400シリーズ)は、順調な売上げを示していますが、業績への寄与は第2四半期以降の見込みです。

この結果、売上高は1,383百万円と大幅な減少となりました。

＜ 塗装設備製品 ＞

国内市場は、景気後退により生産設備が過剰となり新設の大型物件は無く、既存設備の改造等が中心となりました。海外市場は、全体的には国内と同様の傾向ですが東南アジアの一部に回復の兆しが見られました。

この結果、売上高は309百万円と半減しました。

②所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

＜ 日本 ＞

国内景気は、生産活動に復調の兆しは見えてきたものの設備投資の回復は遅れており、厳しい状況を継続しています。当社グループは市場ごとのニーズをとらえた販売に注力いたしましたが、売上高3,055百万円、営業利益81百万円と大幅な減少となりました。

＜ ヨーロッパ ＞

景気の回復が遅れ、売上高は353百万円、営業損失3百万円と大幅な減少となりました。

＜ その他の地域 ＞

中国・インド・米国を含めた地域は、売上高685百万円、営業損失20百万円となり他の地域に比較し小幅な減少となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は23,019百万円となり、前連結会計年度末に比べ463百万円減少となりました。このうち、流動資産は12,372百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,017百万円減少しました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が743百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は5,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ679百万円減少となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が467百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は17,037百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円増加となりました。これにより自己資本比率は71.5%となり前連結会計年度末に比べ2.3ポイントの増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ57百万円減少し、3,652百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は7百万円の支出となり、前年同四半期連結累計期間に比較し支出が391百万円減少しました。その主な要因は、「法人税等の支払額」の支出が534百万円減少したことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は1,500百万円の支出となり、前年同四半期連結累計期間に比較し支出が1,531百万円増加しました。その主な要因は、「定期預金の増減額」による1,475百万円支出の増加などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は83百万円の支出となり、前年同四半期連結累計期間に比較し支出が276百万円減少しました。その主な要因は、「配当金の支払額」の支出が253百万円減少したことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成21年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

下記の簡便な会計処理を適用しており、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理は適用しておりません。

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

四半期連結会計期間末における棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法を採用しております。

また、営業循環過程から外れた棚卸資産については、著しい変化がないと認められる限り、前連結会計年度末時点における処分見込価格により計上する方法を採用しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産の減価償却費につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,808,126	5,265,780
受取手形及び売掛金	3,260,011	4,003,496
商品及び製品	1,758,831	1,781,103
仕掛品	143,110	121,387
原材料及び貯蔵品	1,232,141	1,182,118
繰延税金資産	480,302	456,938
その他	725,364	616,036
貸倒引当金	△35,513	△37,060
流動資産合計	12,372,375	13,389,800
固定資産		
有形固定資産	5,555,804	5,511,616
無形固定資産	55,371	44,194
投資その他の資産		
投資有価証券	2,907,168	2,606,918
繰延税金資産	826,355	948,415
その他	1,307,221	987,043
貸倒引当金	△5,255	△5,255
投資その他の資産合計	5,035,490	4,537,122
固定資産合計	10,646,666	10,092,933
資産合計	23,019,042	23,482,733
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,496,414	1,964,297
短期借入金	282,639	247,389
未払法人税等	15,074	10,304
賞与引当金	225,425	513,359
その他の引当金	130,768	172,002
その他	1,143,279	1,083,405
流動負債合計	3,293,601	3,990,758
固定負債		
長期借入金	84,466	96,956
退職給付引当金	2,394,731	2,455,880
その他	208,612	117,646
固定負債合計	2,687,810	2,670,483
負債合計	5,981,411	6,661,241

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,380,380	1,380,380
利益剰余金	11,942,492	11,987,070
自己株式	△19,397	△19,299
株主資本合計	16,657,828	16,702,504
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	223,479	81,118
為替換算調整勘定	△421,329	△527,333
評価・換算差額等合計	△197,849	△446,215
少数株主持分	577,651	565,203
純資産合計	17,037,630	16,821,492
負債純資産合計	23,019,042	23,482,733

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	6,095,828	3,728,585
売上原価	3,577,342	2,324,193
売上総利益	2,518,486	1,404,391
販売費及び一般管理費	1,945,912	1,440,409
営業利益又は営業損失(△)	572,574	△36,018
営業外収益		
受取利息及び配当金	31,939	28,180
為替差益	36,737	37,881
持分法による投資利益	68,657	30,822
その他	52,921	38,758
営業外収益合計	190,255	135,642
営業外費用		
支払利息	13,097	11,100
その他	10,280	4,388
営業外費用合計	23,378	15,489
経常利益	739,451	84,135
特別利益		
貸倒引当金戻入額	24,010	1,561
その他	2,349	3,922
特別利益合計	26,359	5,484
特別損失		
たな卸資産評価損	47,419	—
その他	3,691	24,719
特別損失合計	51,110	24,719
税金等調整前四半期純利益	714,700	64,900
法人税、住民税及び事業税	59,072	11,370
法人税等調整額	231,364	5,865
法人税等合計	290,437	17,235
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5,859	△309
四半期純利益	418,404	47,973

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	714,700	64,900
減価償却費	136,461	158,688
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,456	△2,219
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△340,965	△288,055
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	6,684	△17,061
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△102,030	△62,333
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,700	△24,172
受取利息及び受取配当金	△31,939	△28,180
支払利息	13,097	11,100
持分法による投資損益 (△は益)	16,975	△30,822
固定資産除売却損益 (△は益)	1,957	1,416
売上債権の増減額 (△は増加)	655,169	789,484
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△89,017	△9,672
仕入債務の増減額 (△は減少)	△332,747	△525,531
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,989	△30,817
その他	△498,714	△24,670
小計	123,462	△17,946
利息及び配当金の受取額	31,939	28,180
利息の支払額	△13,097	△11,100
法人税等の支払額	△541,671	△7,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	△399,367	△7,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	75,885	△1,400,000
有形固定資産の取得による支出	△78,387	△77,915
有形固定資産の売却による収入	13,201	6,132
貸付けによる支出	△400	—
貸付金の回収による収入	288	1,356
その他	20,954	△29,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,543	△1,500,063
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,099	31,013
リース債務の返済による支出	—	△5,594
長期借入金の返済による支出	△20,404	△13,591
自己株式の取得による支出	—	△610
自己株式の売却による収入	—	227
少数株主からの払込みによる収入	5,842	—
配当金の支払額	△346,319	△92,838
少数株主への配当金の支払額	△594	△1,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,376	△83,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41,676	32,817
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△768,877	△1,558,409
現金及び現金同等物の期首残高	4,375,261	5,210,922
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	103,336	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,709,720	3,652,512

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社および連結子会社は、販売市場、製品用途等の類似性から判断して同種・同系列の圧縮機、真空機器、塗装機器及び塗装設備を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社および連結子会社は、販売市場、製品用途等の類似性から判断して同種・同系列の圧縮機、真空機器、塗装機器及び塗装設備を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日) (単位：千円)

	日本	ヨーロッパ	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,756,790	658,480	680,558	6,095,828	—	6,095,828
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	518,857	34,139	25,538	578,535	(578,535)	—
計	5,275,647	692,619	706,096	6,674,364	(578,535)	6,095,828
営業利益	690,876	38,960	41,880	771,717	(199,143)	572,574

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス・スウェーデン・スペイン

(2) その他の地域……アメリカ・インド・中国・タイ・韓国

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日) (単位：千円)

	日本	ヨーロッパ	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,715,251	341,156	672,177	3,728,585	—	3,728,585
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	340,742	12,106	13,745	366,594	(366,594)	—
計	3,055,993	353,263	685,922	4,095,179	(366,594)	3,728,585
営業利益又は営業損失(△)	81,376	△3,378	△20,400	57,597	(93,615)	△36,018

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス・スウェーデン・スペイン

(2) その他の地域……アメリカ・インド・中国・タイ・韓国・オーストラリア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	871,411	809,279	669,745	2,350,436
II 連結売上高(千円)				6,095,828
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.3	13.3	11.0	38.6

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス

(2) アジア……中国・インド・韓国・タイ

(3) その他の地域……アメリカ・オーストラリア

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域向けの売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	405,508	506,445	411,382	1,323,336
II 連結売上高(千円)				3,728,585
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.9	13.6	11.0	35.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス

(2) アジア……中国・インド・韓国・タイ

(3) その他の地域……アメリカ・オーストラリア

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域向けの売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。